



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.177 2018 February

今月の記事

Top News

○米国CHEA・CIQG2018年次総会に出席、
CIQGと「質の原則」にかかる覚書を締結

..... 1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象
とする単位積み上げ型の学位授与関係

科目等履修生制度の開設大学一覧

○平成30年度版を当機構ウェブサイトに掲載

..... 2

評価事業

機関別認証評価等について

○評価結果（案）の取りまとめ 3

機構の窓

○会議の開催状況 4

主要行事日程

○Schedule（2月～4月） 5

TOP NEWS

○米国 CHEA・CIQG2018 年次総会に出席、CIQG と「質の原則」にかかる覚書を締結

平成 30 年 1 月 30 日（火）から 2 月 1 日（木）にかけて、米国高等教育アクリティケーション協議会（Council for Higher Education Accreditation: CHEA）及び CHEA 国際質グループ（CHEA International Quality Group: CIQG）の年次総会が、米国のワシントン DC において開催され、当機構からは木村顧問、土屋研究開発部教授、齋藤客員准教授、総務企画課職員及び国際課職員が参加しました。

また、当機構はこの訪問の機に CIQG と「質の原則」に関する覚書を締結しました。CIQG は、2015 年に作成した「質の原則」の理念に賛同し同原則に則った質保証活動を行うとする機関と覚書を締結することにより、「質の原則」の世界的な普及を目指しています。すでに、欧州高等教育質保証協会や、当機構の覚書締結機関である英国高等教育質保証機構、オーストラリア高等教育質・基準機構なども CIQG と覚書を締結しています。



CHEA の Eaton 会長と（覚書調印後）

CHEA 年次総会では「アクリティケーションの新しい標準：アクリティケーションの実践と政策」をメインテーマとして、講演や分科会が行われました。

セッションでは、平成 29 年 12 月 1 日に米国下院にて提出された「教育改革を通じた機会、成果、成功の促進法案」（プロスパー法案）の与える影響について、特に学習成果の重視や、コンピテンスベース教育、営利大学参入等の規制緩和等について様々な立場からの意見が紹介されたほか、現在米国では高等教育に対する国民の信頼が揺らいでいる中で、学生・納税者へのアカウントビリティをより一層強化するため、学生への教育情報提供の充実化、教授法軽視の改善、評価結果における透明性の拡大、デュアル・ディグリー等を通じた海外の学生の積極的な受け入れの必要性等について言及されました。



CIQG 年次総会の様子

CIQG 年次総会では「政治と政府：グローバル化、国際化、そして質保証」をメインテーマに各セッションが実施されました。

セッションでは、情報を自ら取捨選択できるがゆえに人々の視野が狭まっている現代における高等教育の課題、社会から求められるスキルの変容、欧州や東アフリカにおける地域ごとの質保証の取組、学術不正、大学の自治、質保証機関の国際ネットワークの役割等、様々なトピックについて発表が行われました。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■科目等履修生制度の開設大学一覧

○平成30年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、科目等履修生として学習することを希望する方々が、大学の学部や大学院研究科を選ぶ際の参考となるよう、国公立大学を対象として科目等履修生制度の開設状況の調査を行い、その結果を取りまとめた上で当機構の[ウェブサイト](#)で公表しています。

なお、原則として平成30年度の開設状況等について掲載するようにはしておりますが、調査の時点で平成30年度の計画が未定の場合には、平成29年度の実績を掲載しています。

また、今回から当機構の学位授与事業に関連して科目等履修生に対し特別なプログラムを設けていると回答された大学も紹介しています。

評価事業

機関別認証評価等について

○評価結果（案）の取りまとめ

平成 29 年度の認証評価については、7月から 12 月初旬にかけての書面調査及び訪問調査を基に、それぞれの評価部会において「評価結果（原案）」が作成され、平成 30 年 1 月開催の大学機関別、高等専門学校機関別及び法科大学院の各認証評価委員会での審議を経て、「評価結果（案）」が取りまとめられました。

「評価結果（案）」は、評価の透明性と正確性を確保するため、各対象大学及び高等専門学校に通知され、意見の申立ての経過後、各認証評価委員会において「評価結果」が確定されることとなります。

「評価結果」は、当該大学、高等専門学校及び設置者へ通知され、文部科学大臣に報告されるとともに、「平成 29 年度認証評価実施結果報告」として、当機構ウェブサイトへの掲載等により、広く社会に公表されることとなります。

機構の窓

○会議の開催状況

- 大学機関別認証評価委員会

第3回 平成30年1月10日（水） 14時00分～17時00分

議事

- 1 評価結果（案）について
- 2 評価部会及び専門部会の編成について
- 3 大学機関別認証評価に係る3巡目の実施大綱・大学評価基準等について
- 4 その他

- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第2回 平成30年1月12日（金） 14時00分～17時00分

議事

- 1 評価結果（案）について
- 2 平成30年度 評価部会及び専門部会の体制等について
- 3 その他

- 法科大学院認証評価委員会

第2回 平成30年1月24日（水） 15時30分～17時30分

議事

- 1 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」に対する評価結果への付記事項等について
- 2 評価結果原案（本評価）について
- 3 法科大学院評価基準要綱の改定について
- 4 平成30年度評価部会等の編成について
- 5 その他

- 大学ポートレート運営会議（第8回）

第8回 平成30年1月31日（水） 13時00分～15時00分

議事

- 1 大学ポートレートステークホルダー・ボード委員および主査の任命について
- 2 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について
- 3 認証評価における大学ポートレートの活用について
- 4 大学ポートレート（国際発信版）について
- 5 その他

主要行事日程

○ Schedule

2月

日	行事名	担当課
15日	学位審査会（平成29年度第4回）	学位審査課
23日	学位記伝達式・講評	学位審査課

3月

日	行事名	担当課
7日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
8日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
9日	学位審査会（平成29年度第5回）	学位審査課
12日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
13日～ 4月6日	平成30年度4月期学位授与電子申請受付期間	学位審査課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成30年度4月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課

